

貿易に関する討議用ペーパー（仮訳）

序文

多角的貿易自由化は特にGATT及びWTO体制の下で拡大されてきた。WTOにおける多角的貿易交渉新ラウンド及びアセアン自由貿易地域合意といった地域又は準地域レベルでの貿易交渉により、貿易の自由化はアジア太平洋においてさらに拡大されていくであろう。

貿易自由化による熾烈な競争は、特に製造業部門の生産性を向上させた。しかしながら、貿易政策と環境政策をバランスさせるためのグローバルレベルの努力にもかかわらず、貿易自由化の下で増加する物品やサービスの生産・流通は、より一層の資源の消費そして環境破壊をアジア太平洋地域にもたらした。

多角的及び地域貿易自由化（さらに運輸・通信コストの減少、物品の質や生産性の向上）による貿易量の増加は、輸出主導の経済成長と貧困の削減を新興工業諸国（NIEs）、東南アジア諸国及び中国にもたらした。しかしながら、中央アジアや太平洋の国々は貿易自由化による利益を十分には受けてきておらず、貧困は依然としてアジア太平洋地域にとって開発問題における最重要課題である。

このため地域が直面する課題は、拡大する貿易自由化の潮流の中で、地域の全ての国、とくに貧困層が、貿易自由化がもたらす利益を十分受けることが出来るようにし、貿易自由化による経済開発と環境保全をバランスさせることである。

討議事項

1. 能力開発（キャパシティー・ビルディング）

キャパシティー・ビルディングは貿易自由化に伴う利益を受けるためには、欠くことの出来ないものである。特に貿易及び貿易政策の環境への影響を評価する能力は、重要である。このためには、次のような政策が考えられなければならない。

- 2000年3月にUNEPとUNCTADにより創設された、貿易、環境と開発にかかるキャパシティー・ビルディング・タスクフォースといった新しい試みの促進
- 国際レベル及び地域レベルでの貿易自由化の環境及び社会への影響を評価するため、政府の政策決定者、専門家、国際機関等の関係者間での環境影響評価のための地域における枠組みの形成

2. 環境上適正な技術

環境上適正な技術の促進は、農業及び製造業部門における生産に係る資源の効率的利用及び公害低減を進めるうえで非常に重要である。この目的のために、次のような対策がとられるべきである。

ローカルな、あるいは伝統的な技術の使用促進

特に後発発展途上国のための、環境上適正な技術導入のための資金手当て

3. 市場へのアクセス

低価値ではあるが環境にはやさしい商品を生産する貧困層が、貿易自由化から利益を得る

ためには、貧困層が市場にアクセス出来なければならない。この目的のために、次のような措置がとられるべきである。

- 貧困層の生産者と市場を結び付けるための仕組みの創設
- 新市場開拓のため、市民社会、政府及び企業間のパートナーシップの促進

4. 中小の企業

多国籍企業と開発途上国の中小企業とでは、技術的障壁に対応するための能力が異なる。また、多国籍企業と開発途上国の中小企業は環境へ与える影響の度合いも異なる。貿易システムが開発途上国にとって公正で、搾取的にならないよう、多国籍企業と中小企業のこのような違いは、認識されなければならない。